

2019年11月18日

東神電気株式会社

東神電気の植物栽培用 LED 光源「tecoled G II」が 大阪堺植物工場の第 2 実証研究施設へ採用

東神電気株式会社（本社：大阪市淀川区、代表取締役社長：寺岡龍彦、以下 東神電気）の植物栽培用 LED 光源「tecoled G II (テコレッド・ジー・ツー)」約 8,000 本が大阪堺植物工場株式会社(以下 OSP)の第 2 実証研究施設(堺市北区南花田町)へ採用されました。



OSP は 2017 年 4 月より大阪府立大学 植物工場研究センター(堺市中区学園町)にある第 1 実証研究施設の事業運営を開始し、リーフレタス(商標「府大マルシェ」)で日産 6,000 株の安定生産と地産地消を中心とした流通と販売に取り組んでいます。

そして第 1 実証研究施設において 2018 年 2 月から 2019 年 1 月の間、複数メーカーの植物栽培用 LED 光源を用いた栽培実証を通じて、今回 2019 年 10 月から稼働を開始した第 2 実証研究施設の光源として「tecoled G II」が全面採用されました。

この第 2 実証研究施設では、大阪府立大学と OSP が 2018 年 12 月 26 日に締結した産学官連携協定に基づき、量産実証研究を通じて新産業として植物工場が社会実装されることを目的として、生産品目の多品種化・機能性食材の開発、AI ロボット等の研究開発が行われる予定です。

東神電気は「tecoled G II」の特長である 400nm~800nm の全波長を含む白色光が、多品種の植物栽培に効果を発揮し、研究開発の手助けになる事を期待しています。

